

JERA 武豊火力発電所爆発問題と JERA 株式会社の対応

1, 武豊火力発電所の歴史

- 1966年 現在の知多郡武豊町富貴竜宮1-1に、中部電力株式会社によって、1号機（石炭）が開設された。途中で石油に変わった。
- 1972年 2号機-4号機（石油、重油）での発電が始まった。
- 2011年 東日本大震災で福島原発が爆発
- 2011年 中部電力は、浜岡原発を停止し、武豊火力発電所は「メガソーラーたけとよ」をスタートさせた。
- 2015年 中部電力は、1-4号機の跡地に石炭火力発電所5号機をつくるという「リプレース計画」を発表し、翌2016年に2-4号機を廃止した。

政府・経済産業省は、この計画に対し「パリ協定」などで取り決められた「CO2削減計画」に抵触すると考え、許可を出さなかった。

- 2017年2月 中部電力は、「石炭とバイオマス混焼による火力発電所」を再提案し、経産省は許可した。
- 2018年 中部電力と東京電力が50%の投資をした「JERA 株式会社」を発足させ、武豊火力発電所は JERA 傘下の火力発電所となり、工事が開始された。
石炭火力については歴史も経験もある電力会社であるが、バイオマス混焼というのは初めての経験であり、経産省や愛知県も許可を出すにあたって慎重に行うようにという留意事項をつけ、注意を喚起していた。

2, 爆発とその後の JERA 株式会社の対応

2018年に始まった工事が、2022年に完成した。しかし、工事中にたびたび事故があり、3月稼働予定が8月5日に変更された。稼働後も、3回火災事故があり、2024年1月31日の爆発事故で4回目である。爆発に遭遇した近隣住民の方は、また事故かという感覚だと言っている。

1月31日15時11分、爆発・火災が起こった。

私たち「武豊町の環境問題を考える会」は、爆発直後の2月2日に発電所を訪問し、面会を求めた。2月7日には、近隣住民、会の代表、近隣の町会議員、碧南市会議員、愛知県会議員などがあつまり面会を申し入れ、「爆発の原因を明らかにして、対策を」という主張をしてきたが、面会しない、そのような文書は受け取れないというのが会社全体の対応だった。担当者は、2024年9月に出向元の中部電力に異動になった。

武豊火力発電所は、1月31日に爆発を起こすと同時に、社内の調査委員会を立ち上げ、これまで、3月21日と4月30日の二回「調査報告書」を出した。

そして、5月25日の住民への公開説明会を行った。経産大臣の指導もあり、これまでの対応につい

て会社の幹部が謝罪した。経産省は、7月12日の時点で、この調査報告書をもって了解したわけではなく、住民説明会をもって住民に丁寧な説明を完了した。ということではないとの見解である。経産省は審議会を行い、そこで再稼働が法的に見て可能かどうかの判断をしていくというスタンスである。

- 2月7日（水） JERA 武豊火力発電所への要請行動。要請文を提出。
・・・議員から説明を行うとの情報・・・
- 5月19日（日） 学習会（気候ネットワーク協賛）
- 5月20日（月） JERA に質問状を提出
- 5月24日（金） JERA から回答。「質問には、公開説明会の会場で答える」とあった。
- 5月25日（土） 住民への公開説明会（富貴小学校体育館）満足の説明はなかった。
- 6月17日（月） 再質問
- 6月19日（水） 再々質問
- 7月3日（水） JERA から、再質問、再々質問に対して文書回答があったがこれも住民の疑問にこたえるような十分なものでなかった。
- 7月24日（水） 再々再質問を送付。
- 7月26日（金） バイオマスの爆発が多く学習会を開いた。
- 8月9日（金） JERA から回答があった。

以上のように、私たちの質問に対して、7月3日に文書回答をいただき、8月9日には、それ以降の質問に対しても回答を行う旨の約束をいただいていた。

しかし、7月3日付けの回答にしても、爆発の直接の原因であるバイオマスの問題点、ベルトコンベアの運転速度、爆発に至った設備の不具合の深い原因など明確になっていないにも関わらず、「今後、事故が起きないようにあらゆる角度から再発防止策を検討いたします」との抽象的な中身の繰り返しが多く見られる。

JERA 株式会社は、9月3日付けで突然、調査委員会「最終報告」なるものを発表し、「バイオマスと石炭のベルトコンベアを分離する」「ベルトコンベアの速度を遅くする」という内容の報告書と、武豊町の環境問題を考える会には、「二度と事故を起こさないように最善を尽くす」という文書を送付してきた。この調査報告書は9月10に行われた経産構造審議会に提出し、10月に武豊町議会に発表しようとした。

私たちは、JERA 株式会社を抗議し、10月1日付けで「バイオマス混焼での火力発電所の再稼働には反対する」という趣旨の文書を送付した。同様の文書を武藤容治経済産業大臣にも送付した。

2024年10月8日
武豊町の環境問題を考える会
事務局長 大久保崇